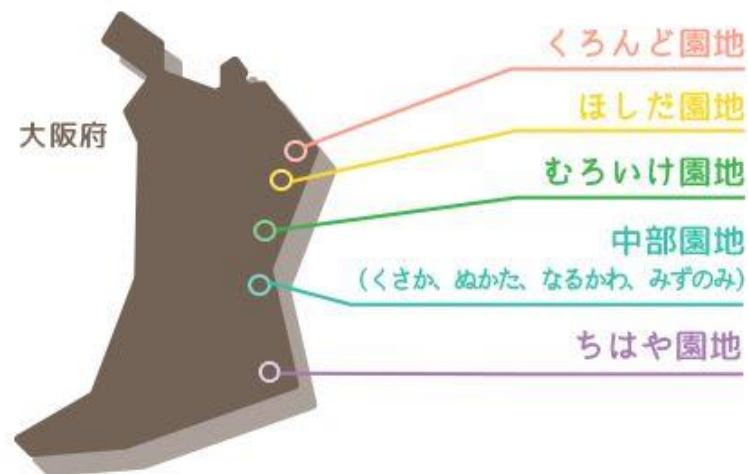


野外活動中に想定される危険

原因	想定される危険
気温、湿度、直射日光	熱中症、低体温症など
気象条件	天候の急変、落雷、台風、大雨、洪水、吹雪、雪崩、地震など
地理的条件	道迷い、遭難、転落、落石、急斜面、岩場、尾根、など
活動技術	迷う、転ぶ、落ちる、捻挫、骨折、打撲、脱臼、切り傷など
疲労や心的要因	判断ミス、パニック、過度の興奮、低体温など
危険生物	ハチ、ブヨ、アブ、マダニ、マムシ、ヤマカガシ、イノシシなど
危険植物、毒キノコ	ウルシ、ヌルデ、イラクサ、カエントケ、毒草
健康状態と衛生管理	発熱、下痢、食中毒、アレルギーなど
用具の操作技術	切り傷、やけど、刺し傷、爆発、一酸化炭素中毒など

補足1: アクティビティ毎の安全管理



(各園地のイベントの例)

登山・ハイキング

- ・あじさいトレッキング、ナイトハイク(中部:生駒)
- ・初登り・豚汁、ナイトハイク(ちはや:金剛山)
- ・むろいけ園地からほしだ園地まで歩こう会(むろいけ)

森遊び

- ・可愛い鯉のぼり工作(むろいけ)
- ・作ってみよう!水てっぽう(むろいけ)
- ・交野わんぱく村:丸太切り/皮むきなど(くろんど)

野外料理

- ・ダッチオーブンで野外料理(くろんど)
- ・金剛山の春まつり 森のピザ屋さん(ちはや:金剛山)

クラフト

- ・クリスマスリース(ほしだ、中部:生駒)
- ・門松作り(中部:生駒)
- ・工作会のイベント(ほしだ、中部:生駒)

・登山・ハイキングでの具体事例

どんな危険が予知されるでしょうか？

あなたならどう対応しますか？



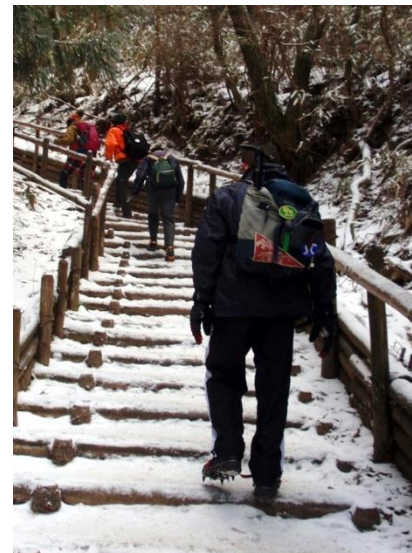
(春)
ハイキング
@金剛山



(夏)
ナイトハイク
@ちはや園地



(秋)
紅葉ハイキング
@金剛山



(冬)
初登り@金剛山
/ちはや園地

・森遊びでの具体事例

どんな危険が予知されるでしょうか？ あなたならどう対応しますか？



(事例)
丸太切り@くろんど園地

(アクティビティー別 安全管理の例)

・刃物を使う場合：丸太切り マニュアル

① 固定型の馬 (馬脚がしっかりしていること)



② 簡易型の馬 (左テーブルに置いた所、



右:裏面に滑り止めを付ける)



③ 固定型の馬に丸太を載せたところ



④ 簡易型の馬に丸太を載せたところ



⑤ 切る時の足位置(簡易型の場合も同じ)



・クラフトでの具体事例

(事例) 竹とんぼ作り@ちはや園地

どんな危険が予知されるでしょうか？ あなたならどう対応しますか？



竹とんぼ工作での注意事項

(アクティビティー別 安全管理の例)

	気配りをしておく事柄	備考
体調／環境管理	・顔色が悪かったりして、体の調子が悪そうな者はいないか。	
	・直射日光に長く当たり、熱発散が悪そうな者はいないか。(熱中症対策)(うちわ・保冷剤)	
	・スズメバチなどの危険・有害な生き物への注意	
材料の取り扱い	・材料を持つ手にはできれば 軍手(毛羽立ちのないもの) をつけるようにする。	
	・竹は天然素材で繊維質なので、ササクレができて 「トゲ」が刺さる場合がある ので、取り扱いに注意する。	
	・削りカスやクズを取る場合、 息を吹きかけない 。ウエスやブラシなどで拭き取る。	
	・削って薄くなった竹は、ナイフのように鋭利になって、 手や指などを切つてケガをする恐れがある ので注意する。	
	・竹とんぼの軸になる 「ひご」 は先がとがっているため、「 刺し傷 」等に注意する。	
道具の扱い方	・刃物は慎重に取り扱う。チョットした過ちでも大きなケガのもととなる。	
	・小刀やキリを使う時は、 絶対にふざけない 。	
	・小刀は利き手で握り、材料を持つ手の親指で小刀の背を押して削るのが基本。 小刀の刃を自分の方に向けて削らないように気を付ける。	
	・キリの穴あけ作業は両手で揉むようにし、片手であけることは出来るだけ行わない。	
飛ばし方	★ 竹とんぼを飛ばす時は、スタッフが付き添うこと。 (スタッフは、飛行方法の指導と前方の安全監視を含め2人以上が望ましい。)	
	・竹とんぼを飛ばす時は、 顔や手などに当たらないように注意する 。 押し出すように「ひご」を回転させる。 「ひご」を手前に引くように回転させると自身の方に向かって飛んでくる。	
	・竹とんぼを飛ばす時は、公園や広場などの広い場所で行う。 この度は人のいる方に向かって飛ばさない。また、当たらないように注意する。	

竹とんぼの飛ばし

スタッフが付き添って行う。
前方の安全監視も含めて
二人以上が望ましい。

慣れるまでは次の方法で飛ばすようにしてみる。

- 竹とんぼは、**真上**に向けず、斜め前に向ける。
構え方は、手を少し下げて、肘を伸ばす
- 体の力を抜いて、ユツタリと構える。
- 竹とんぼを手中央(指の付け根)で挟み、左手は動かさず右手を手前に引く。
竹とんぼは左手のたなごころ(掌)と右手の指先で支える位置に来る。
- この位置から左手を動かさず、右手を強く押し出す。
右手を押し出す時、掛け声をかけながら右足も踏み出すと更に高く飛びやすい。
- 右手が左手の先まで行くと竹とんぼは勢い良く飛び出す。
- 投げるのではなく、回転させる。

ボールを投げる癖で、竹とんぼを投げて上げようとする子どもがいるので、**回転させることで飛び上がるということを指導する。**

左利きの人は、右と左の動作を反対にして飛ばすようにする。



構え方



右手をこの位置まで引く



右手を前方、やや下向きに突き出す
竹とんぼは回転しながら飛び出す

慣れるまでは力を抜いてゆっくりと飛ばす。

最初の頃は、竹とんぼがどちらに飛んでいくかわからないので、**必ず周囲に人が居ないことを確認してから、**

・野外料理での具体事例

(事例) 野外料理@ちはや園地、くろんど園地

どんな危険が予知されるでしょうか？ あなたならどう対応しますか？



・野外料理マニュアル

- ・食品の取り扱いと衛生管理
食材購入時期、現地での保管
参加者のアレルギー事前確認
食中毒の防止(手洗い、器具消毒、まな板/包丁の使い分け、
十分な加熱、作り置きしない、飲食用には沸かした水) など
- ・参加者への調理の安全指導

(事例) 石窯ピザ作り&ネイチャーガイド、ダッチオーブン料理@ちはや園地



お子さんへの調理支援



高温のピザ釜へは
近づかせない



必ず手袋を着用
誰かが見守る

補足2:参加者への告知(例)

- ・イベントのオリエンテーション時に、予測される危険と注意を話す。
例)ハイキング道の通行危険箇所、熱中症対策、道具の使い方 など
- ・イベントの代金領収時に、領収証に告知文を掲載し、口頭で説明する。

催し参加料受取書

様

金

円

催し名「

」

年

月

日

安全に楽しく自然を体験していただくために

- ① 野外の活動では基本的に自分の身は自分で守って下さい
- ② 保護者の方はお子様を見守り安全には十分に注意して下さい
- ③ 主催者の注意事項をよく守りスタッフの指示に従って行動して下さい
- ④ 催し中に体調不良で行動できないと思ったらすぐスタッフに連絡して下さい

NPO 法人 日本パークレン

〒545-0053

大阪市阿倍野区松崎町 2-10-22



補足3: JPAが契約している保険(例)

1. 保険の種類と補償

保険の種類	ボランティア保険	参加者障害保険 (イベント保険)	森林ボランティア 保険
取扱会社	社会福祉協議会 (三井住友海上)	ジェイアンドエス 保険サービス	森林ボランティア 協会(甲南保険)
賠償責任	5億円	-	1億円
死亡・後遺症	2090万円	300万円	1000万円
手術	入院日額x5~10倍	入院日額x5~10倍	-
入院(1日当)	11,000円	3000円	5000円
通院(1日当)	5000円	2000円	3000円
掛金	500円(Bプラン)	約20円/人	Aタイプ

チェーンソー利用時

活動の対象者など他人の
身体や財物に損害を与え、
法律上の賠償責任を
負った場合

ボランティア自身が
ケガをした場合

2. 事故やケガが発生したら

1. 事故やケガの発生の旨をすぐに事務局に電話で伝える (理事長、又は副理事長宛に一報)
2. 保険担当は事故発生の旨を保険会社に連絡する
3. 事故・ケガ発生時のリーダー、又は事故時に立ち会った人が報告書を作成して事務局に提出する。
4. 保険会社から保険の申請に必要な書類が本人に送られるので、本人が記述し、必要書類(領収証や証明書など)を準備し保険会社に提出する。